

講演分野①(人材定着・離職防止:スタンダード編)

「もう採用コストを無駄にしない! ~人手不足時代の人材定着経営~」

1 想定する対象者

- 中小企業の経営者・経営幹部
 - 人事担当者・人材育成担当者
 - 管理職・現場リーダー
 - 若手社員の離職や採用難に悩む企業
 - 人材定着を経営課題として見直したい企業
-

2 本講座でお伝えすること

人手不足が深刻化する中、多くの企業が採用強化に取り組んでいます。

しかし現実には、

- 「やっと採れた若手が辞める」
- 「育てる前に辞める」
- 「現場が疲弊する」

という悩みを抱える企業が後を絶ちません。

そして離職者の声を分析すると、人は単に「給与が低い」から辞めるわけではないことが見えてきます。

- 「自分を見てもらえていない」
- 「成長実感が持てない」
- 「会社が守ってくれない」
- 「ここで働く意味が見えない」

と感じた時、人は会社を離れていきます。

いまや、賃金や福利厚生だけで人材定着を実現することは出来ません。

本講座では、人材定着・早期離職防止の専門家として、多くの離職事例や企業支援経験をもとに、

- なぜ人が辞めるのか
- 人が辞めない会社には何があるのか
- 人材定着を実現する企業は何をしているのか

について、具体的な事例を交えながら分かりやすく解説します。

中小企業だからこそ実践できる、人材定着の考え方と実践ポイントをお伝えし、人手不足時代を乗り越える組織づくりのヒントを提供します。

3 主な内容

「採用できる会社」より、「辞めない会社」が生き残る時代へ

近年、人手不足による倒産件数は過去最多水準となり、多くの企業が採用難と離職増加という二重の課題に直面しています。

かつては「採用」が人材戦略の中心でした。

しかし現在は、「採用した人材が定着し、活躍すること」が企業成長の鍵となっています。

本講座では、人材定着研究や企業支援の経験をもとに、以下のテーマについて具体的に解説します。

- なぜ今、「採用」より「定着」が重要なのか
- 人は「待遇」だけで辞めるわけではない
- 若手社員が会社への不信感を抱く瞬間
- 離職理由の“建前”と“本音”
- 「ちゃんと見てもらえていない」が離職につながる理由
- 成長実感が人材定着を左右する
- 人が辞めない会社に共通する“安心感”とは
- 管理職の関わり方が定着率を左右する
- 中小企業だからこそ実践できる定着施策
- 人材定着理論「RE-PERM 法」に基づく組織改善のポイント

人材定着を「人事部だけの課題」ではなく、「経営課題」として捉え直すことが、これからの時代には求められています。

本講座では、人が集まり、人が育ち、人が辞めない組織づくりの実践方法についてお伝えします。

以上